



発行  
大光寺 山 藤雅史  
静山 住職  
寂住

この2つは「大変危険につき取り扱い注意!」です。

◇凡夫

**悲**しい出来事が起こりました。二月から続くロシアのウクライナに対する軍事介入です。

自己中心の正義を社会に持ち込めば、多くを傷つけ、死に追い込む恐れすらあります。どんな戦争でも正義と正義のぶつかり合いですから。**我必ずしも 聖にあらず**

**彼必ずしも 愚に非ず**

**ともにこれ 凡夫のみ**

「十七箇条憲法」 聖徳太子

以前、お寺の掲示板に書いた言葉を思い出しました。「自分が正義と想ったとき、人間はどれだけでも残酷になれる」と。詳しい事情は私にはよくわかりません。お互いに敬いあい尊重できる社会の実現が私たち人間が生きる社会にとって理想なんだと思っています。

本当に「平和になるための正しい戦争」はあるのでしょうか。

◇危険取扱注意!

平和は戦い取るものではなく、お互いが築き上げるもの。しかし、これがなかなか「言うは易く、行方は難し」ですね。

(1)相手の考えや行為が気に入らないという勝手な思いで相手を裁き、自分を振りかえることがなければ、争いは絶えません。そこには(2)自分を「善、正義」とする傲慢な姿があります。

相手の尊敬する心と思いやり、そして自ら「凡夫(ぼんぶ)不完全」の自覚を持つこと。これ無しでは、真の平和は訪れません。

◇兵戈無用(ひょうがむよう)

親 鸞聖人が真実の経と仰がれた仏説無量寿経に、「兵戈無用」という言葉があります。

「仏の教えにあえば人は己の至らなさを自覚し、お互いを尊敬し、よって軍隊(兵)や武器(戈)を持つ必要はない(無用)」との意味です。

仏教、特に浄土真宗では、聞くことを最も大切にします。しかしそれは、**自分勝手な聴き方や都合の良いところだけを摘み食いするような聴き方ではありません。**

心を開きありのままに耳を傾けるところに柔軟心が生じ、己が姿を知らされ、相手を尊敬する心が恵まれます。そこには暴力を必要としない世界が開かれるのです。

◇怨親平等(おんしんびようどう)

**怨** みや憎しみの対象となる「敵」であっても、親しみや愛情の対象となる

「味方」であつても、仏教の根本精神である慈悲の心、仏様の眼から見ればどちらも平等にいつくしみ憐れむべきであるといえます。敵味方というお互いを分ける立場にばかり執着をしていると大切なものを見失ってしまいかねません。

仏の教え(道)を聞くことのない生き方には、他人を傷つけても顧みることなく、自らも心の安らぎのない頑迷(こんめい)なものに陥る恐れがあります。**残念ながら人はそれほど賢いものではありません。**

まず聴聞に心がけ、他人を尊敬できる“大人”となること。それが大切な人を、家族を、地域を平和に、日本を平和に、世界を平和にする道ではないでしょうか。

# 教へて住職!

その時は、「命日より遅くなつてはいけない」のではなく、「自分たちの都合で命日に勤められなかった」

仏法を聞く中で故人を偲ぶわけですから、三人も四人もまとめて、というわけにはいきません。

**実** は一番多い質問がコレです。多くの場合、ご法事にはご家族をはじめ、

親戚や故人に近い友人などに声をかけ、

沢山の人で故人を追慕し、仏さまのお徳を讃え、お勤めをします。

せつかく忙しい中を来ていただいたのですから、お勤めが終わったらお茶の一杯でも出さなければ失礼にあたるでしょう。

ただ、そのお茶をどのタイミングで出せばいいのか、なかなか難しいと仰られます。法事にはある程度順序が決まっていますので、今から紹介させていただきます。参考にしていただければ幸いです。

まず、法事を勤めるにあたって施主は何かと大変です。①まずは日取りの設定。法事の日取りは基本的には亡き人の命日に勤めるのが当然です。が、なかなか現実はそのうはいきません。自分の仕事の都合や参詣いただく親類縁者の方々の都合もあります。

との反省のもと、命日からあまり離れない日を選びましょう。命日より遅くなつても問題ありません。

(1) 次に法事の併修(へいしゅう)については、併修とは複数の故人の法事を一緒に勤めることを言います。一周忌・三回忌くらいまではきちんと勤められることが多いのですが、

## 法事の時、お茶を出すタイミングがわかりません。

### 施主として気を付けなければいけないことはありますか？

### 法事の所要時間はどれくらいですか？

年数が経つと併修のご依頼が増えてくるように思います。故人の

命日から三カ月以上離れてしまうとどうしても「ついで」に勤める印象を与えてしまますので注意が必要です。

年忌法要である以上、

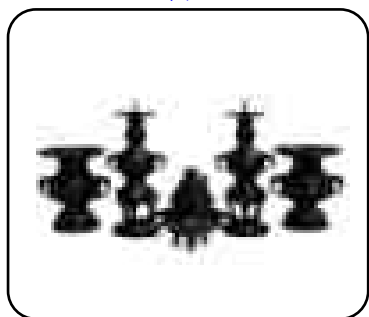


(2) もう一つ、お布施についても記しておきます。と言っても中身のことはありません。封筒のお話です。

やむを得ず2人分のご法事を同じ日に勤めたとき、お布施の封筒は2つに分けていただくようお願いをさせていただきたいと思ひます。これは、お寺の会計帳簿に記入するとき、○月○日、

誰々様の○回忌 金額云々... と記載するとき、1つの封筒に入っていると帳簿に記載するとき困ってしまうのです。確かにお布施はお預かりしたけれど、いったい誰の法

事においくら包んでくださったのだろうか? と考えてしまうのです。「御布施」と書いた封筒の右肩に、亡き誰々の○回忌と書いていただけると



随分助かります。一纏めに記載することは  
ありませんので、どうぞよろしくお願い  
いたします。

②さて、日取りが決まったら次はお仏壇  
のお飾りです。法事の際は普段より少し豪  
華に飾り付けをします。具体的には正面の  
蠟燭立とお華を2つずつにします。中央に  
は香炉を設置し、蠟燭立2つ、花瓶2つ、  
合計5つ置きますのでこれを五具足と言  
います。この五具足を置く机(前卓と言いま  
す)には三角形の打敷という布を敷いて仏  
具を飾ります。そして、お供え物ですが、  
仏事のお供えで最高のもが「お餅」です。  
お仏飯は言うに及びませんが、「餅・菓子・  
果物」の順にお供えすることを心がけましょ  
う。なお、大きなお供え物はお仏壇の脇に  
別の台を設けてお供えしましょう。

③次に法事の所要時間ですが、私の場合は  
大体四十分前後です。法事には順序があり  
ますので別表で記しておきますのでご参考  
になさってください。

④お茶を入れるタイミングについてですが、  
別表のとおり全てが終了してから準備する  
ようにお願いいたします。お勤めが終わっ  
て私が御法話をしようと振り返った瞬間に  
席を立つ方がおられますが、これはタイミ

ング的には早すぎます。御法話も御文章も  
全てが終わった後に必ず皆様に「ありがと  
うございました」と挨拶をするようにして  
いますので、それから準備をしていただけ  
れば結構です。ご参詣の皆様には多少お待  
ちいただくことになりましたが、これは失礼  
には当たりません。時折お参りに来られて  
いる方の中には「法事は施

主とその家族が勤め、我々  
は招待された客だ」という  
意識のある方が見受けられ  
ます。しかし、法事は故人  
に縁ある人が集まり、共に  
仏法を聞き味わうところに  
意義があり、それが最大の  
目的です。法事に集まっ  
た人すべてが法事を営む一  
員であり参詣者は”お客様”  
ではありません。ご自身が  
他家のご法事に行かれると  
きもご注意ください。それ  
と思います。ですのでお茶も  
ゆつくり準備をなさってい  
ただければ結構かなと思  
います。

- ### 法事の次第
- 一、総礼
  - 一、表白(今から○  
○様の○回忌  
法要をお勤め  
します等仏様  
にお告げしま  
す)
  - 一、読経(主に正信  
偈、場合によっ  
ては阿弥陀経  
等)
  - 一、法話(5〜10分  
程度)
  - 一、御文章
- 私が「ありがとうございました」と言っ  
てから、  
**お茶準備↑ココです!**  
お茶を飲みながら雑談

手です。私にもお茶をいただけるようであ  
れば真冬であっても冷たいお茶か、ぬる  
いお茶をいただければ大変 喜びます。お  
勤めが始まる前に熱いお茶を入れていた  
ければ、お勤めが終わった頃には私にとっ  
て丁度飲み頃でございます。もし覚えてい  
ただけるようであれば大変嬉しく存じます。

- ①法事は命日にお勤めするのが理想ですが、無理な場合はあまり  
命日から遠くならない日を設定しましょう。命日より遅くなっ  
てはいけないということはありません。
- ②法事の併修はなるべく避けましょう。
- ③お仏壇のお飾りは普段より少し豪華に。
- ④所要時間は私の場合はお勤めから法話、御文章までで約40分  
です。併修になるともう少し長くなります。
- ⑤お茶は私が「ありがとうございました」と言ってから準備に向  
かっていただいても失礼にはあたりません。

### 教楽寺役員変更のお知らせ

教楽寺の責任役員並びに門徒総代の任期が4月24日で満了となりました。

これに伴い4月11日、教楽寺集会所において、責任役員・総代会を開催し、次の方に責任役員・門徒総代を選出し、本人の了承を得、委嘱いたしましたのでお知らせします。  
任期は令和4年4月25日から4年間です。

#### 責任役員

寺本 忠行  
大西 美男

#### 門徒総代

北本 一美  
田中 小夜子  
阪本 美澄子

(敬称略)

### 敬 弔

昨年1月1日から本年5月31日までに、左記の方がご逝去されました。生前のご遺徳を偲び謹んで哀悼の意を表します。

#### 大光寺門徒

2月12日	西谷 義一
2月28日	三輪 育子
3月25日	野口 益子
4月28日	林 昭
5月5日	花川 勉
5月25日	福山 龍子
6月16日	松岡 法子
7月1日	高岡 さち子
7月15日	板橋 隆憲
7月15日	野口 英男
7月19日	田畑 恵美子
8月6日	野口 勝子
3月9日	花川 初治
3月12日	林 健次
5月27日	宇佐見 信子

(敬称略)

### 敬 弔

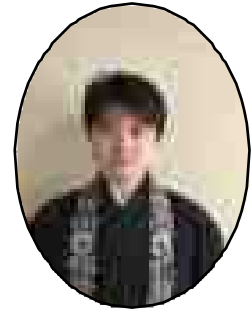
昨年1月1日から本年5月31日までに、左記の方がご逝去されました。生前のご遺徳を偲び謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

#### 教楽寺門徒

2月27日	上中 信芳
8月16日	辻岡 典行
9月12日	大原 秋子
9月25日	北本 進
9月29日	住田 都
10月18日	寺本 義信
11月13日	谷口 久次
1月11日	辻本 ユリ子
1月22日	嶋添 トリエ
4月3日	上田 志津子
4月8日	岡本 仁三
5月14日	谷口 良文

(敬称略)

今回も北海道の名和先生から仏さまのお話を寄稿いただきました。



## 四無量心（しむりょうしん）

阿

弥陀さまの徳をあらわすのに、「四無量心（しむりょうしん）」

という言葉があります。四つの量り（はかり）知ることのできないお心。それは「慈」「悲」「喜」「捨」と言われ、特に他人の自らの痛みと感じ（悲）、その苦しみを除き、人々にしあわせを与えようとする心（慈）とあわせて「慈悲」と言い、仏教最大の特徴としてそのお心が強調されてきたのでした。

今

年は北京オリンピックがあり、日本の選手達が躍動する中、心痛む場面がありました。ジャンプの団体で、高梨沙羅選手がスーツの規定

違反で失格になったのです。高梨選手が下を向き泣き崩れた姿は本当に辛く、見ていられないほどでした。するとそこに近づく一人の女性の姿がありました。それはドイツチームの理学療法士、テレジア・シュスターさんという方でした。普段から競技のために毎日精いっぱい戦っている選手の姿を間近で見ているテレジアさん。「選手が泣いているのを見ると胸が張り裂けそうになります。理学療法士として当然のことをしたままで」と、肩に手をかけ、ポケットにあったティッシュを差し出し寄り添う姿が話題になりました。高梨選手の悲痛な姿に、そうせずにはいられなかったのです。

人

の苦しみをわが痛みと感じ、相手を思いやる心。それは人を支えていく力になります。

もし人が、どのような方に対してもそう接することができたら、きっと世界は平和にちがいありません。平穏な世界というのは、そのような慈悲の心がひろがる場所にもたらされるのです。また四無量心の「喜」は「相手が素晴

らしいこと、善いことをしたときに我が事として喜べる心」を言います。人のしあわせを素直に喜べるというのは、それだけ自分の人生にも喜びが増えるということ。他者の悲しみ喜びに共感しつつ生きる・・・「心豊かな人生」とはきっとそういうことを言うのでしよう。

阿

弥陀さまが「どうか私の教えをよ

私たちが一人一人に痛切に願ひ続けてくださっていることの意味を、心痛む報道の日々に感じずにはいられません。阿弥陀さまのお心を聴聞し、まずは我が身を省みること。そして私たちの歩むべき道を尋ねていくことの大切さを改めて思うのです。



# おすすめ書籍のご案内



今回は書籍ではありませんが、西本願寺が発行している新聞のご案内です。

寺新報」は門信徒の方々の新聞です。

宗門の動き、社会問題、やさしい法話、童話のページなど新しい情報が紙面いっぱい。

1面と最終面はカラー写真豊富に使ったカラーフルな紙面づくりを行っています。一家に一紙、ご購入をお勧めします。主な内容としては、

### ◇ ニュース・論評

「people-ひと」今「きらり」と光る注目の「ひと」、「スポーツライト」を浴びて活躍中の人を紹介

### ◇ 「西本願寺医師の会ひろば」

医師の会員が、紙上健康相談のほか、医療現場で感じた「いのち」への思いを綴る

### ◇ コラム

「いのちの葉（しおり）」

仏典や親鸞聖人、妙好人、念仏者などの生き生きとした言葉を味わう

「生きづらさ感じていませんか」

貧困、育児不安、思春期の悩みなど「生きづらさ」を抱える現代の人たちへのメッセージ。等々。

購読希望の方はお寺まで。直接も可。



## ご協力ありがとうございました

**昨**年本堂に設置させていただきました「東日本大震災」並びに「熊本地震」災害支援金募金箱に、

合わせて一万二千二百一円の募金を賜りました。皆様からお預かりした支援金は、住職が活動する「震災支援を続ける会」様に寄付させていただきました。

**時**間の経過とともにそれぞれ

少なくなりましたが、各被災地では、変わらず苦悩と悲嘆、不安等を抱えて悲惨生活を送っておられる方がたくさんいらっしゃいます。

この会で活動する私たちは、被災された方々の苦悩に寄り添うことはできないかもしれませんが、「節目」を過ぎても同じく苦悩と孤独を生きるものとして関わり続けたいと思います。

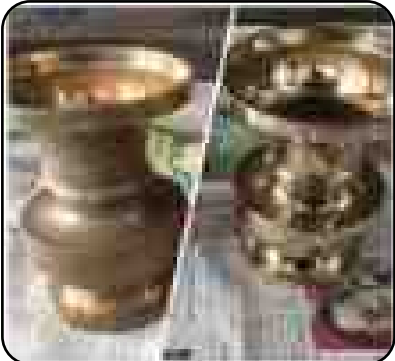


**今**後とも被災地を忘

れることなく、ご協力賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## おみがき

おみがきって聞いたことありませんか？ 仏具磨きのことをおみがきと言います。大光寺では9ページ下蘭にある日におみがきをしています。1年間の感謝を込めて仏さまのお道具「仏具」をピカピカにします。この時、家庭にある仏具を持ってきていただきましたらお寺の仏具と共に磨きましよう。綺麗に磨くのは真鍮製の仏具です。お鈴や輪灯、仏飯器など、洗濯ネットに入れて持ってきてください。ね。ピカピカの仏具は気持ちいいですよ♪



# 永代納骨（合祀）墓があります



令和3年1月、大光寺の境内地(敷地内)に永代納骨(合祀)墓が出来ました。

近年増えてきた「墓じまい」後の御遺骨の埋葬や、新たにお墓を建立しない方の大切な方の埋葬ができます。

申込書は大光寺のホームページからもダウンロードできます。

詳細はお寺までお問い合わせください。

◎納骨懇志（御布施）

- ・大光寺門徒 1体につき15万円以上
- ・大光寺門徒以外の方 1体につき20万円以上

## お寺の法要にお参りください

お寺の法要へのお参りは浄土真宗門徒、お寺にご縁のある全ての方々の大切な営みです。先人の言葉に「1日1度は家庭のお仏壇にお参りしましょう。月に1度は手次の寺にお参りしましょう。年に1度は本山本願寺にお参りしましょう。」とお勧めくださっています。

特に報恩講には必ずお参りしましょう。

### 令和4年度 法要・行事予定

	大光寺	教楽寺
・8月12日 盂蘭盆会	午前10時	
・9月22日 秋季彼岸会	午前10時	午後2時
・10月20日 おみがき	午後2時	午前9時
・10月23日 報 恩 講	午前10時	午後2時
・12月31日 除夜の鐘	午後11時30分頃～	
・1月2日 新年のお勤め	午前10時	
・3月23日 春季彼岸会	午前10時	午後2時

※急遽日付や時間に変更になることがあります。必ずお寺の掲示板でご確認くださいませようお願いいたします。

# 西本願寺のページ

ここでは京都西本願寺のご案内をいたします。何かの折に京都へ行かれた際、出来れば本山本願寺を目的に、是非お立ち寄りいただきたいと思っております。本願寺では様々な取り組みを行っていますので、気軽に立ち寄っていただけます。

**ご誕生 850年**  
**立教開宗 800年**  
**参拝申込**

二〇二三年（令和五年）年は宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたります。また、その翌年には親鸞聖人が、『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、浄土真宗のみ教えを開かれた「立教開宗」から800年をお迎えする年となります。本願寺では、来年3月から5月に、5期30日間に

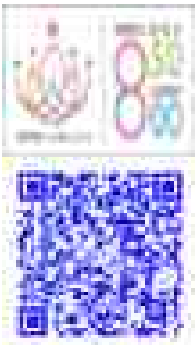
わたり、その慶讃（きょうさん）法要をお勤めいたします。

**親鸞**聖人が浄土真宗のみ教えを説き示してくださったことへの感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、

「立教開宗」に感謝する慶讃法要に是非ご参拝ください。

なお、参拝には事前の申し込みが必要です。申込ページのQRコードを貼っておきますのでご利用ください。

インターネットの利用が苦手な方は、参拝センター（TEL：〇七五―三六六一五八八―）までお電話でお申し込みください。国宝の書院や飛雲閣の拝観もできます。



## お西さんを知ろう！

**お西さん**を知ろう！  
お西さんは、本願寺の僧侶

（お西のお坊さん）がガイドとなつて本願寺の境内を案内する本願寺ツアーです。

どなたでもご自由にご参加いただくことができます。

毎日10時〜 11時30分  
13時45分〜 15時30分  
の1日4回開催されています。

**参加**をご希望の方は、開催時間までに本願寺境内「総合案内所（お茶所）」へお越しください。

参加いただいた方は024（おにし）カードがいただけます。カードは全部で24種類、全て揃えると何かイイモノが貰えるかもしれません。

## Shinran's Day

毎月16日は親鸞聖人の月命日。西本願寺ではこの日を機縁に多くの方に本願寺とご縁を結んでいただきたいと思います。の願いから各種イベントを開催しています。本願寺へ行かれた際はぜひお立ち寄りください。

- ① 法要（お勤め）  
親鸞聖人月忌法要10時〜  
場所…御影堂
- ② 法話（仏様のお話）  
10時35分〜10時55分頃  
場所…御影堂
- ③ 国宝書院特別案内  
受付 16日9時〜10時  
でに龍虎殿で受付  
時間 11時（法話終了後〜12時頃まで）  
対象 受付を済ませて法要に参拝した方
- ④ 京の文化体験  
予約…不要

時間 9時10分〜9時45分  
場所…お茶所  
（総合案内所）

※腕輪念珠作り・おい袋作りなどの文化体験

⑤ 参拝ツアー  
予約…必要  
場所  
日野誕生院

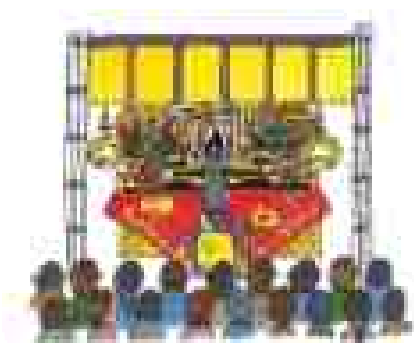
【親鸞聖人御誕生の地】  
角坊

【親鸞聖人ご往生の地】  
比叡山延暦寺

【親鸞聖人ご修行の地】  
六角堂

【親鸞聖人100日参籠の地】  
など

⑥ いちろく市  
時間 9時〜15時  
場所 門前町、御影堂門・阿弥陀堂門周辺





# 西本願寺の常例布教がインターネットで生配信されます

**常** 例布教ってご存知ですか？もし

かしたら大光寺のご門徒の方では、ご存じない方が多いかもしれません。

常例布教とは、あらゆる機会をを縁として仏さまのお話を聴き、わたしの「いのち」を見つめ直す尊いひとと

きです。浄土真宗のみ教えを詳しく、わかりやすく、全国の浄土真宗の布教使が定期的にお話をしていることを言います。

京都の西本願寺では、毎日、全国の別院（有名所では東京の築地本願寺・和歌山では鷺森別院）では月に1回、3回行われています。大光寺のような一般寺院では多くても月に1

回程度でしょうか。

**残** 念ながら大光寺をはじめとして

多くの一般寺院ではこの常例布教を行えておりません。大きな理由の一つとしては経済的な面が大きいかと思えます。

大光寺のようにそれほど大きなお寺でもなく、門徒数も少なく、日常でお寺を維持していくことが精一杯のお寺では、布教使の先生にお越しただいて、お話をさせていただくことが非常に困難です。

講師の先生への謝礼や交通費、お越しただく場所によっては宿泊費等が必要になります。私としては住職を継職して以来この常例布教をできないかと思案

ておりましたが、実現できないまま今日を迎えております。

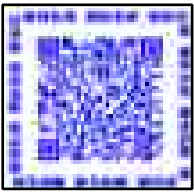
京都の西本願寺ではこの常例布教を毎日行っています。

技術の発展に伴い、この常例布教がインターネットで配信されるようになりました。

**毎** 日午後2時から、

ニューチューブで配信されていますので、ご門徒の皆様には是非御聴聞いただきたいと思えます。左のQRコードを読み取ってご覧ください。

毎月『かがやき』に御法話を寄稿いただいている北海道の名和先生にもお会いできるかもしれません。



## 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年

二〇二三（令和五）年は宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたります。また、その翌年には親鸞聖人が、『頭浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、浄土真宗のみ教えを開かれた「立教開宗」から800年をお迎える年となります。

『教行信証』は、私たち浄土真宗の門徒が日々からのお勤めをする「正信偈」をはじめとして浄土真宗成立の根本が親鸞聖人によって示された大切な書物です。京都西本願寺では、二〇二三（令和五）年3月から5月に、5期30日間におたり、その慶讃

法要をお勤めいたします。親鸞聖人が浄土真宗のみ教えを説き示してくださったことへの感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する慶讃法要をともにお勤めさせていただきます。

期	日	月	日
第1期	3月29日	(水)	〃
第2期	4月3日	(月)	〃
第3期	4月10日	(月)	〃
第4期	4月15日	(土)	〃
第5期	4月24日	(月)	〃
第6期	4月29日	(土)	〃
第7期	5月6日	(土)	〃
第8期	5月11日	(木)	〃
第9期	5月16日	(火)	〃
第10期	5月21日	(日)	〃

場所 西本願寺  
時間 基本的には  
午前10時  
午後二時  
の一日二座  
・時間変更  
の日もある。



# 帰敬式とは

私たちは、ひとりで生きていけるほど強くはありません。弱い私を見抜いてくださり、「いつでもあなたとともにある」とはたらいてくださっているのが阿弥陀如来です。

阿弥陀さまに支えられ、励まされながら90年の生涯を生き抜かれた親鸞聖人。

聖人が伝えてくださった「南無阿弥陀仏」を依りどころに生きてゆく第一歩として受けていただく儀式が「帰敬式」です。

## 受けるようになる？

帰敬式を受けると、「釋○○」という法名をいただきます。ん？法名？いつも身内が亡くなったら住職がつけてくれるアレかい？と思われた方はいらっしやいますか？そのアレです。本来は亡くなってからいただく名前ではなく、生きているうちにいただくのが本筋です。

さて、法名についている「釋」の文字は、お釈迦さまの弟子（仏弟子）としていただく名前です。

お釈迦様は「仏教」を発見してくださり、私が「仏になれる道」として「南無阿弥陀仏」を伝えてくださいました。

阿弥陀さま（南無阿弥陀仏）は「決してあなたをひとりぼっちにすることはない。」

# 帰敬式を受けましょう

ききようしき

と誓い、すでに私のところへ働いてくださっています。

「私はひとりではなかった」という、よろこび・自覚を新たにする時、ご門主様よりいただく名前が法名です。いのちが終わってからはなく、生きていく「今」受式し、いただく名前が法名です。

## どうすればいい？

帰敬式を受けようと思われたアナタ、まずは住職にご相談ください。

さい。なお、別途1万円の冥加金（御布施）が必要です。

## ご注意ください

帰敬式を受ける際は次のことにご注意ください。

・帰敬式を受式して授かる法名は西本願寺のご住職（ご門主）からいただく法名です。お経や聖教から私たちに相応しいお名前を授かりますので、自分の名前の漢字一文字は入っていません。どうしても自分の名前の漢字を入れたい場合は、先の「法名の内願について」をお読みください。

- ・場所 帰敬式は京都の西本願寺で受式できます。
- ・時間 帰敬式は1日2回、原則毎日行われています。時間は、朝のお勤め（6時〜）に引き続きと、午後1時30分〜（日によっては午後1時〜）の2回です。

- ・お金（御布施） 帰敬式を受式する冥加金（御布施）は、成人の方は1万円、未成年は5千円です。
- ・法名の内願について 特に希望する法名（文字）がある場合、法名を内願することができます。この場合住職の承諾が必要ですので必ずご相談ください。

- ・「帰敬式」は必ず本人が受式しなければいけません。代理の受式はいかなる理由があっても認められません。
- ・帰敬式の受式は、住職に内緒で行っても受けられますが、必ず帰敬式が行われる時間の1時間前に、西本願寺の「龍虎殿」で受付を済ませてください。



子どもたちの笑顔のために募金



浄土真宗本願寺派（西本願寺）では、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」という理念のもと、『御同朋の社会をめざす運動』（実践運動）を推進しています。この運動の具体的な実践目標を重点プロジェクトと定め、2018年より「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」ー子どもたちを育むためにーを掲げています。

これを推進するにあたり、世界を視野に入れ長期的な展望に立ち、国内の寺院のみならず、海外開教区など、より多くの方々が参画できる取り組みとして、お釈迦さま以来、仏教が大切にしてきた「布施」の精神をもとに、貧困に苦しむ国内外の子供たちへ届ける『子どもたちの笑顔のために募金』の支援活動に取り組んでいます。

支援先

① Dāna for World Peace! ー世界の子どもたちの笑顔を応援しますー

本願寺派の海外拠点などのネットワークを活用し、子どもたちの笑顔のためにできる支援を行います。

具体的には、

- (1)浄土真宗の有志で国際的に活動する団体から申請に基づく支援。
- (2)カトマンズ本願寺と連携したネパールの子どもへの支援。
- (3)その他、必要に応じた海外への支援。

② 子どもたちの居場所づくりを応援します

子ども食堂など、活動の主催者からの申請に基づき支援します。また、これら活動の開設に向けた支援をします。

具体的には、寺院で子ども食堂や学習支援など、子どもたちの居場所づくりの活動を行っている主催者への支援。

③ 施設で暮らす子どもたちの笑顔を応援します

保護者のいない子どもや、家族による養育が困難な子ども、虐待を受けた子どもなどが入所する児童養護施設などに支援します。

具体的には、

- (1)浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会の加盟14施設への支援。
- (2)母子生活支援施設本願寺ウィスタリアガーデンへの支援。

**子どもたちの笑顔のために募金**

海外の貧困に苦しむ子どもたち  
国内の子ども食堂、学習支援、児童養護施設等も支援

【郵便振替】 00940-5-282766  
 (記入名称) 子どもたちの笑顔のために募金  
 住所: 京都府京都市中京区大光寺町1-1-1 大光寺本願寺

【銀行振込】 ゆうちょ銀行 099店 口座0282766  
 振込先: 京都府京都市中京区大光寺町1-1-1 大光寺本願寺

【キャッシュレス募金】 QRコードから  
 専用ページから簡単に募金するメニューあり  
 QRコードも掲載されています

左記の方法で直接募金いただくか、お寺にお持ちいただいても取り次ぎさせていただきます。



大光寺のホームページを開設しました。ご門徒様向けの情報を発信していきますので、どうぞご覧ください。



ホームページ開設！

本堂

法事等で本堂を使用する場合、本堂使用冥加金として金10,000円のご進納をお願いしています。

護持費の納入をお願いします

毎年すべてのご門徒様に護持費(10,000円)の納入をお願いしています。お納めいただきました護持費は本堂をはじめとする諸堂宇の維持管理や、仏さまへの御仏飯・お花・お線香等のお供えに充てさせていただきます。何かと厳しい折大変恐縮ですが、ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お願い

ご法事等、お参りのお電話をいただく際、日程に比較的余裕をもってご連絡くださいますようお願いいたします。少なくとも希望日の1カ月前を目途に、候補日を2つか3ついただくと大変助かります。また土日祝は職場での休みが取りにくくなっています。なるべく平日で調整いただくと有難く存じます。

住職直通の携帯電話はコチラ⇒ 090-7488-5765

ご祥月法要のお参りについて  
 住職を継職してから、月忌参り(常速夜)を休止しております。  
 祥月命日(故人の正当のご命日)はお参りさせていただきますので、ご希望の方はお寺までご連絡ください。  
**大光寺 0736-42-3055**

